

■大会規約(空手クラス)■

得点	ポイント	優劣	懲罰	減点ポイント
			注意	0
有効	+1	=	警告	-1
技有	+2	=	反則注意	-2
一本	+3	=	反則 (反則負)	-3

《判定基準規定》

【有効(ポイント1)】

- 以下のそれぞれの条件に「気合」と相手との距離を取って「残心」が伴ったものを有効とする
- 上段に禁止技をのぞく蹴り技がクリーンヒットした打撃
 - しかけた技(ヒッカケ/サバキ/崩し/軸足払い)で相手を転倒させると同時に下段突き(寸止め/当てると倒れた相手への攻撃で危険行為の反則)→転倒させられた相手による下からの蹴り上げは認める
→相手が自らの技を仕掛けたことによる転倒への下段突きは『有効』を認めない
 - 自身の蹴り技が相手にヒットし相手が大きく転倒した場合
→気合と残心をとった場合は「有効」とする場合がある

【技有(ポイント2)】

- ダウンしなくても相当のダメージを認めた場合
- 有効を2回奪った場合

【一本(ポイント3)】

- ダウンをするか一時的に戦意を喪失した場合
- 技有りを2回奪う
- 有効3を奪う又は技有りと有効1を奪う
- 主審・医師が試合続行不可能と判断した場合

【同点の際の判定基準】

態度、闘争心、力強さ、戦略の優劣、技術の優劣、しかけた技の多さ、中段以上の蹴りの多さ、技有りには至らないダメージの有無、等で判定される。
※有効(ポイント1)あるいは警告(警告ポイント1)があっても、上記基準の優劣により判定で相殺される場合もあり得る。
※体重差を利用して前に出る行為は判定での優先順位が低い。

★注意事項

- 協議判定において、審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判員にある。
- 審議内容については監査・審判が説明、決定はかなる抗議も受け付けない。
- 大会会場及び試合中に生じた負傷・事故等については競技者の自己責任となる。
この件について主催者は一切の責任を負わない。自己判断にて事前に医師の診断を受けること。当日は大会医師並びに大会救護員あり。
- 大会会場・控室のゴミ・ペットボトルは各自で持ち帰ること

《禁止行為規定》

禁止行為はカテゴリ1とカテゴリ2に分類される

◆カテゴリ1:(危険行為/負傷につながる禁止行為)◆

- 顔面(首含む)への手技・頭突きでの攻撃
*故意あるいはダメージのある顔面殴打の場合、
注意を逾越して減点ポイント1となる場合がある
- 上段膝蹴り(一般男子・一般女子を除く)
- 金的・女子の下腹部への攻撃
- 主審の「やめ」の後での攻撃
- 腰からの上へ持ち上げての投げ
- 背後から正中線への攻撃を当てること
- 倒れた相手へ直接攻撃を当てること
- その他主審が危険と判断した場合

◆カテゴリ2:(違反行為/試合の進行を妨げる禁止行為)◆

- 相手の道衣をつかむ事(ヒッカケ/サバキ/崩しあり)
- 首相撲
- グリンチを仕掛ける事
- 故意に場外へ逃げる事
- 頭部、首へのかかえこみ(高校生以上は除く)
- 【失格】
- 試合中、審判員の指示に従わなかった場合
- 出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- 各階級の規定体重をオーバーした場合
(2キロ未満は減点のポイント1、2キロ以上は失格)

■減点ポイント基準■

【注意(減点0)】

- 初めの軽微な禁止行為

【警告(減点ポイント1)】

- 注意が与えられた後の禁止行為
- ダメージを伴う禁止行為

【反則注意(減点ポイント2)】

- 警告が与えられた後の禁止行為
- 大きなダメージのある禁止行為
- 減点ポイントが累積された場合

【反則=反則負け(減点ポイント3)】

- 反則注意が与えられた後の禁止行為
- 試合続行不可能なダメージのある禁止行為
- 減点ポイントが累積された場合
- ※懲罰はカテゴリ毎に累積され、減点ポイントはカテゴリを超えて累積される。

延長戦以降はサドンデスルール(有効ポイント1又は減点ポイント1が課せられた時点で終了)とする。
また、最終延長戦はどちらかに旗を上げるマスシステムとする。
(体重判定を行わない)

防具	●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 一着用無し					
	男子			女子		
	一般 チャレンジ	一般	マスターズ	一般 チャレンジ	一般	
マウスピース	△	△	△	△	△	
拳サポーター(布製)	*●	—	*●	*●	—	
パンチンググローブ	*●	—	*●	*●	—	
スネサポーター(布製)	●	—	●	●	●	
ヒザサポーター(布製)	●	△	●	●	△	
金的ファールカップ	●	●	●	—	—	
心臓震盪予防用 インナーチェスト	—	—	—	**●	**●	
スポーツブラ	—	—	—	**●	**●	
アンダーガード	—	—	—	●	●	

- 金のファールカップは必ず道衣の下に着用
- 拳頭部へのテーピングは、裂傷がある場合にのみ認める。試合前に各コートの監査チェックを受けておくこと。それ以外の箇所へのテーピングに監査のチェックは不要。
- *パンチンググローブか拳サポーター(布製)はどちらでも選択可能。
- **女子のインナーチェストとスポーツブラはどちらでも選択可能。

■大会規約【キックボクシングクラス】■

《判定基準規定》

【判定基準】

○勝敗はジャッジ3名による旗判定にて行う。

【KO】

○ダウンをし、10カウント以内に立ち上がれない。
または、ファイティングポーズが取れない場合。
但し、ダウンを奪った選手がニュートラルコーナーに移動して初めてカウントを開始する。万が一カウントの途中でニュートラルコーナーを離れた場合は、カウントを止めてニュートラルコーナーへ戻るまでカウントを開始しない。

※全ラウンド、終了間際のダウンはゴングに救われない。

- 1R中に2度ダウンを奪った場合
- レフリー・医師が試合続行不可能と判断した場合
- セコンドからのタオル投入

【有効技】

○パンチ(ストレート、フック、アッパー、バックハンドブロー)
○キック(前蹴り、廻し蹴り、横蹴り、後ろ蹴り、後ろ廻し蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、回転胴廻し蹴り、かかと落とし)
※相手の攻撃を掴んでの攻撃は瞬間のみ(チャレンジクラス禁止)とする。
※掴んでからのヒザ蹴りは1発のみ(チャレンジクラス禁止)とし、お互いの動きがない場合にはレフリーの判断でプレイクを掛ける。

《禁止行為規定》

- ヒザ、顔面へのヒザ、バッティング、投げ技、関節技、背後・倒れた相手への攻撃、相手を掴んでのヒザの連打、その他故意とみられる反則技
- 金的、目潰し、噛みつき等の危険行為 ※反則負けとなる場合もある。
- レフリーの「ストップ」の後での攻撃
- その他レフリーが危険と判断した場合
- 相手の手足やローブなどを掴む(ホールディング)行為
- 攻防の流れを止めたり、攻撃の意図でないウリンチ
- 蹴り足キャッチ(チャレンジクラスのみ)
- 掴んでのヒザ蹴り(チャレンジクラスのみ)

- 【失格】 ●試合中、レフリーの指示に従わなかった場合
●出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
●各階級の規定体重をオーバーした場合
(2キロ未満は減点のポイント1、2キロ以上は失格)

★注意事項

- 上着は必ずキックパンツの中に入れてください。(上半身裸は禁止です)また、長袖のTシャツや長袖のラッシュガードの着用や、金具、ポケットのついた試合着も禁止となります。
※半袖のラッシュガードが理想的です。
- 下はキックパンツとなります。

★注意事項

- 協議判定において、審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判長にある。
- 審議内容については監査・審判の説明、決定よくなる抗議も受け付けません。
- 大会会場及び試合中に生じた負傷・事故等については競技者の自己責任となる。
この件について主催者は一切の責任を負わない。自己判断にて事前に医師の診断を受けること。当日は大会医師並びに大会救護員あり。

クラス	●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 ー着用無し			
	男子		女子	
	キックボクシング	チャレンジクラス	キックボクシング	チャレンジクラス
ヘッドギア	○	○	○	○
マウスピース	●	●	●	●
バンテージ	●	●	●	●
グローブ	○	○	○	○
ファールカップ	●	●	●	●
ヒザサポーター	●	●	●	●
スネサポーター(布製)	○	ー	○	ー
スネサポーター(皮製)	ー	○	ー	○

申込み方法

【申込方法】

○必ず各流派団体・支部毎にまとめてご郵送、お振込いただけますようお願い致します。

【参加費お振込先】

参加費: 空手 7,000 円(税込)、キック 5,000 円(税込)
宮崎太陽銀行 宮崎市場支店(014) 普通預金 普通口座/1054045 名義 正道会館 宮崎支部 代表 大矢秀二
※振込手数料は申込者負担でお願いします。
※振込、または現金書留で大会参加費のお支払いを直しくお願いいたします。

【お問合せ・申込書・参加費現金書留 送付先】

〒880-0845宮崎市新成町47番地 新日本空手道連盟 正道会館全九州大会事務局 ☎0985-25-9670